

(様式1)

令和4年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)

第一貯木場緑地広場、南水路緑地及び開港記念碑緑地広場 港湾課

2 施設所在地

高岡市石丸、射水市片口、射水市堀岡西新明神

3 施設設置年度

昭和51 年度

4 設置目的

【第一貯木場緑地広場】

地域住民等人々の休息、憩いの場として整備された緑地

【南水路緑地】

港口付近、港のシンボリック的位置にあり、人々と港湾、海洋とのふれあいの場、コミュニティ空間として広く公共の用に供し、港湾のシンボリック機能を果たす緑地

【開港記念碑緑地広場】

地域住民等人々の休息、憩いの場として整備された緑地

5 施設概要

【第一貯木場緑地広場】

敷地面積：10,531㎡

主な施設：トイレ…鉄筋コンクリート造1F建 33.14㎡

【南水路緑地】

敷地面積：54,178㎡

主な施設：展望台…鉄筋コンクリート造3F建 144.38㎡

トイレ…鉄筋コンクリート造1F建 63.25㎡

【開港記念碑緑地広場】

敷地面積：1,450㎡

6 指定管理者

和泉産業株式会社

7 指定期間

5 年

平成30年4月1日

～

令和5年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人）

H30	R1	R2	R3	R4
—	—	—	—	—

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

H30	R1	R2	R3	R4
—	—	—	—	—

【参考】 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H30	R1	R2	R3	R4
—	—	—	—	—

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

地域住民等、人々の休息、憩いの場として十分利用されている。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・南水路緑地内の富山新港展望台の休館日を短縮、開館時間を延長
- ・除草、病虫害防除、樹木剪定や清掃等の作業回数を追加
- ・指定管理区域に隣接している岸壁を清掃
- ・花壇へ植え込み
- ・道路脇にも除草剤を散布
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、展望台内にアルコール消毒液を設置

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・除草や樹木剪定、芝刈り等の作業回数を追加し、継続して実施している桜の植栽や造成した花壇への植込みにより景観の向上に寄与
- ・12月中旬から2月中旬の約2か月間、冬季閉館している展望台展望室にイルミネーションを設置
- ・朝夕の安全パトロールを実施
- ・認知度アップのため、平成27年10月より、ホームページ掲載用の港湾3緑地の施設概要を作成

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	展望台にアンケート用紙と回収箱を設置
回答者数	81
結果	公園の清潔感、樹木や花壇の管理状況について80%以上が満足・ほぼ満足と回答。 <ul style="list-style-type: none"> ・景観が良い ・きれいで気持ちが良い ・もう少しアピールした方がいい ・ゴミがあり清掃してほしい
結果を踏まえた改善事項	引き続き利用者に満足いただけるよう、清掃や樹木管理等を適切に行う。

② その他利用者の声を反映させる取組み

関係機関や利用者代表による3緑地管理の検証会議を行い、意見・要望を聴取。

③ 主な苦情と対応

利用者より、開港記念碑緑地広場隣接の岸壁にゴミが置いてあると清掃の要望があるため、月2回の緑地清掃時に対応している。

(5) 個人情報保護の取組み

社内規程「個人情報保護規程」に基づき、適切に管理されている。

(6) 関係団体との連携

- ・地元の片岡パークゴルフ愛好会との共同清掃作業の実施。
- ・地元自治会による夜間パトロールの実施。
- ・地元消防団による日中及び夜間パトロールの実施、緊急時の出動要請申請。

(7) 施設・設備の維持管理

適正に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・朝、夕方及び夜間のパトロールを定期的の実施。
- ・月に1回、社員安全研修を実施し、緊急時の対応を確認。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	2
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無し

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

- ・運営状況については令和2年度の第三者評価において高い評価(Aランク)を受けているが、一方で開港記念碑緑地広場の歴史的意義をPRする方策の検討や利用者ニーズの把握、モニタリングの必要性が指摘されたことから、R3年度に利用者へのアンケートを実施した。
- ・引き続き、利用者のニーズを把握しながら効率的な管理を行うとともに、施設の老朽化等による修繕が必要な箇所が増加が懸念されるので、計画的に修繕を実施し、利用者の安全と満足度の向上を図ってほしい。